

## 呑川親水公園の維持・管理

### ●区による管理

呑川親水公園の管理は、区の玉川公園管理事務所が行っています。側道は、区道で玉川土木管理事務所の管理ですが、植えられた桜は公園管理事務所が管理しています。

管理の作業は、川床や土手の除草や清掃、施設・設備の点検、桜並木の剪定・植替えなどで、業者に委託しつつ実施しています。

みなさんが暑さ寒さの中でのこれらの作業を見かけることも多いと思います。

### ●さくらフォーラムの活動

でも、これだけの広さの公園を常時きれいに保つのはなかなか大変です。さくらフォーラムは、微力ですが、次のようなお手伝いをしています。

1. 側道の桜並木の桜の樹木位置図（樹木番号対応）の作成・更新
2. 土手の側道側の清掃（年数回）
3. 桜につく外来害虫クビアカツヤカミキリの発生調査（6～8月）
4. 桜新町親和会主催の花がら清掃（4月）と落葉清掃（晩秋）への参加

### みなさまのお声を寄せてください

「私たちの呑川親水公園」をこれからも美しい憩いの場として守っていくために、どのようなことをしたらいいか、どんなことがやりたいか、みなさまのお声を寄せていただくと嬉しいです。ホームページの「お問い合わせ」からどうぞよろしくお願いいたします。お電話も歓迎します。



真冬の川床の清掃作業



桜に取付けられた樹木番号  
深沢7丁目5番にある  
7本目の桜を示します

### さくらフォーラムから

●謝辞 本号の企画・編集に際して、玉川公園管理事務所のお話をうかがい、資料を提供いただきました。厚くお礼を申し上げます。

写真を提供くださった方々、お話をお聞かせくださった方々にも厚くお礼を申し上げます。

### ●お詫びと訂正

6月にお届けしたニュースレターのタイトルが間違っていました。お詫びして訂正いたします。

正 No.46 2022年6月 誤 No.45 2022年3月

### ●写真・情報・お話募集

写真を見せていただける方、情報をご提供いただける方、お話をお聞かせいただける方は、ぜひ下記の発行元までお知らせください。

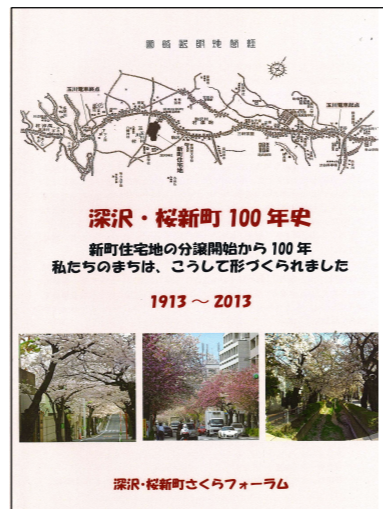
### ●「深沢・桜新町100年史」(定価500円)を販売しています。

新町住宅地の分譲開始(1913年)前夜からの深沢・桜新町の100年をまとめた小冊子です。(A5版、全カラー、表紙共全72ページ)ホームページから、又はお電話でお申し込みください。

### ●ホームページは、リニューアルを検討中です。お知恵をお貸しください。

### ●会員を募集しています

この地域の歴史、景観、環境、みどりなどに関心のおありの方は、ぜひご参加ください。ご連絡は、下記までお願いいたします。



発行元: 深沢・桜新町さくらフォーラム <http://sakura-forum.jimdo.com/>

〒158-0081 世田谷区深沢 8-19-6 フェリックス気付 電話: 03(3702)3274

FAX: 03(3702)3219

©深沢・桜新町さくらフォーラム、2022

世田谷区地域の絆連携活性化事業の補助金を受けて作成しました。



深沢・桜新町さくらフォーラムは、地域の風景づくりの活動に取り組む団体です。 <http://sakura-forum.jimdo.com/>  
2面、3面: 呑川親水公園の水の流れの仕組み 4面: 呑川親水公園の維持・管理

## 長かった夏も終わり、やっと良い季節が巡ってきました 『歩いてみませんか、呑川親水公園一周 1,740メートル!!』

### 親水公園が生まれるまで

●呑川とは? 現在の桜新町駅の北側を通っていた品川用水の漏れ水やそのあたりの湧水を源として各地の流れを集めて東京湾に注ぐ全長14.4kmの川です。(詳しくは、ホームページで第39号をご覧ください。)

かつてこの地域では近隣の田畑を潤し子供達の絶好の遊び場でしたし、「呑川の流れ」は、深沢中学校の校歌にも歌われ親しまれてきました。

●水質悪化と暗渠化の方針 高度成長期になると人口が増え、都市河川は、住宅や工場の排水で汚染され悪臭を放つようになりました。1964年の東京オリンピックを控えた東京都は、1961年「中小河川の暗渠化」方針を打ち出し、その後、呑川も暗渠化が進められました。

●暗渠化見直しと親水公園の実現 しかしこの地域では「暗渠化するのではなく、呑川の清い流れをなんとかして取り戻したい。」という住民や地元議員の熱い思いが行政を動かして、暗渠化は回避されました。しかし、汚染が進んでしまった川を、どうやって昔の姿に?

それからは住民も参加して様々な議論や検討が重ねられて、1989年から4年半かけた工事を経て、1993年(平成5年)4月に「呑川親水公園」が開園したのです。暗渠化されてしまう運命だった川が、住民や関係者の熱意で清い流れに再生された場所、それがここ「呑川親水公園」です。

・「どんな形で流れを再現できるかを検討していた頃、区が仕立てたバスに区や設計の関係者、住民代表なども乗りこんであちこちの親水公園などを見て回ったりもしました。」

・「あの頃はみんな一生懸命でした。みんなの力でできたこの公園、これからもぜひみんなで守り育てていってほしいです。」

ところで、流れの仕組みは、どうなっているのでしょうか? →次面をご覧ください。



①1958年(西山橋やや北左岸)



②1960年(伊勢橋から上流を見る)



③1965年(御嶽橋から下流を見る)



④1988年(西山橋から上流を見る)

### 写真に見る呑川の移り変わり

②の左側は深沢高校(1963年開校)の前身の長尾邸跡地  
③の右側、⑤の左側は共に深沢高校



⑤2022年 呑川親水公園(伊勢橋から上流を見る)